

卓越した調湿力が持続するシリカゲルに、防湿・断熱機能を持つシートを一体化。

## 多機能シート

断熱

防湿

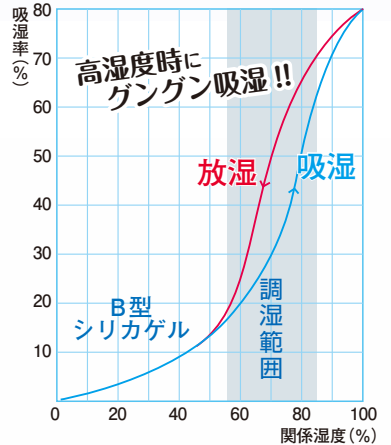
脱臭

# TERA テラ

吸湿と放湿を繰り返すことで、年間を通じて最適湿度にコントロール!

### 持続性シリカゲル(B型)とは

二酸化ケイ素が組成の98%以上を占める、極めて安定した化成品です。この珪素とは地殻の約60%を占める重要な物質で、石英(水晶)等として自然界に存在します。内部は無数の孔(すきま)が毛細管状に広がる構造を持ち、1gあたりの表面積を畳で換算すると約300畳分にもなります。この大小微細な空間は、湿度が上昇すると大量の湿気(水蒸気)を吸い込み、また条件次第で吐き出す働きがあります。食品添加剤としても認可のある安心、安全な素材です。

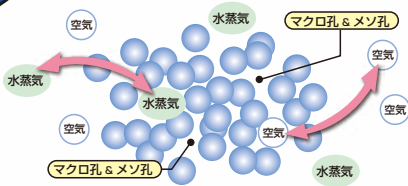


たたみ約300枚分!!

### 吸湿⇔放湿 × 繰り返し = 健康家族と快適住まい



【シリカゲルB】



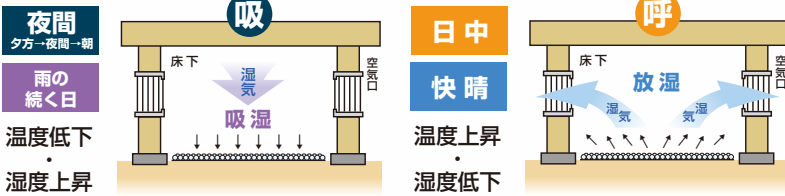
項目		JIS規格値
吸湿率	相対湿度20%	3以上
	相対湿度50%	10以上
	相対湿度90%	50以上
含水率		2以下
P H		4~8
比抵抗 (Ω・cm)		3000以上

シリカゲルはJIS規格(日本の国家標準)により、一定以上の数値を要求されます。

### 特長

#### ①『調湿機能』

使用原料の持続性シリカゲルは、使用開始時を起点として湿度上昇時は吸湿、また少しでも湿度が低下すると取り込んだ水分を放湿、この作用を半永久的に繰り返します。この調湿作用により、年間を通じて床下空間の湿度をコントロールします。また、湿度が高くなるほど吸湿効果を発揮するため、住宅を傷める※夏型結露にも対応します。



#### ②『家屋材の腐敗防止』

長期にわたり湿度の高い状態が続くと、束材など住宅の土台にあたる木材に悪影響を与えます。木の含水率が20%を超えると、腐朽菌などのバクテリアが発生、木材を腐らすことになります。テラは木材の水分量を過剰にならないよう調湿するため、腐敗を抑制し、木造建築物の耐久性を高めます。

#### ③『脱臭および有害ガスの吸着』

カビ臭など床下独特の臭気をシリカゲルが吸着します。特にアンモニア臭に対し優れた効果を発揮します。

#### ④『断熱と省エネ』

テラが地面からの熱伝導を遮断することで、床下表面上に現われる結露の発生を抑えます。加えて、シリカゲルの持つ無数の隙間が空気を抱える空間となり、夏涼しく冬暖かい効果を実現、年間を通じた省エネ効果も期待できます。

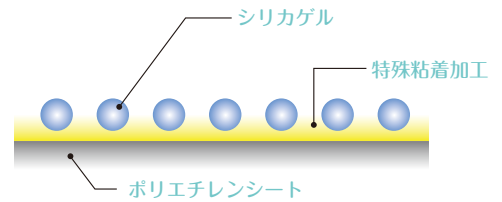
#### ⑤『害虫の予防』

湿度調整によりダニ、カビおよび寄生害虫が繁殖しにくい環境を作ります。

販売・施工

#### 【構造および材質】

床下に通常使用される防湿シートの厚みを約2倍にしたものを使用。地面から発生する湿気をしっかり防壁、また、地面からの熱および冷気を遮断します。



ポリエチレン

防湿シートとして多数実績のある素材です。燃焼しても塩素ガスが出ないため、ダイオキシンが発生する恐れがありません。

粘着加工

環境に負荷を与えず、人体にも害の無い加工法です。

#### 【吸湿性能】

持続性シリカゲルの最大吸湿量は自重の約70%と、一般的な木炭および天然鉱物と比較すると重量あたりで約5~10倍の吸湿力を持ちます。

多機能シート テラ 1㎡あたり

最大吸湿量 約 **1,000g**

※温度30℃、湿度90%時で1㎡あたりの大気中に含まれる水蒸気量は26.7g

#### 【用途】

床下調湿(土間、ベタ基礎)  
コンクリートの水分放散対策

ほか 天井裏、地下室・露出配管、パイプスペース  
ポンプ室等の湿気・悪臭・結露対策

<Jタイプ> 流し下・水周り・風呂場・押入れ  
各収納庫・トランクルーム等  
※テラ<Jタイプ>は表面に保護膜を使用